

## \*協賛品について\*

お待たせしました。「協賛のおねがい」のフォーマットが完成しました。

仕事や学業でみなさんととても忙しいとは思いますが、気分転換にもなるかと思うのでまずは自分の身近なところから活動をしてもらえたらなと思います。下にいくつか注意点を列挙したので読んで参考にしてください。また協賛品の依頼が重複しそうな団体・企業に連絡をする場合は協賛係まで聞いてくださると、重なったときの手間が省けるかと思います。

- ① まず、協賛を求める企業・団体に事前に連絡をとる。(総務部や広報が協賛関係の窓口となることが多いようです) 事業と協賛品の募集について下のフォーマットを参考に、簡単に説明してください
- ② 協賛に興味を示してくれた際には、フォーマットに必要事項はその企業や団体に合わせて入力(赤字部分に注意)して持参、または郵送する。直接持って行くと、より思いが伝わるし、説明しやすいとは思いますが、(誤字・脱字に注意！作成したら読み返しましょう！特に企業名(株式会社の位置など)は間違えないようにしましょう。)  
※「二. ご提供品と数量」に、欲しい商品とその目的を書く効果的だと思います。
- ③ 作成したフォーマットと併せて「参加青年のしおり」の P.1 (事業概要) と P.2 1 (航路図概要図) を各自コピーして同封すると、東ア船事業についてより理解してもらえると思います。また、事前研修の時に頂いた IYEO についてのパンフレットを持っていくと事業の写真等も載っているのでよりわかりやすいと思います(欲しい人はあまねまで連絡下さい)。
- ④ 協賛品の提供が決まった際は、団体・企業名、品物の種類・個数を協賛品係(あまね)までご連絡下さい。HPの掲示板またはMLでどのようなものが集まっているかを報告していく予定です。
- ⑤ 協賛団体へは事業終了後、事業の報告とお礼状と写真を持参、または郵送します。
- ⑥ 協賛品は内閣府の倉庫にいったん保管されます。ただ、まだ、どこの倉庫に保管するか決まっていないため、決まり次第連絡します。その際は必ず領収書(宛名「**2005東南アジア青年の船**」※上様ではダメです。但し書き「協賛品送料」として)をもらってください。
- ⑦ 特に必要なもの・・・服(ポロシャツ、Tシャツ) 食料品、お酒、スポーツドリンク、サプリメント等
- ⑧ 文房具は40個以下だと困ります。
- ⑨ 以上が協賛品の流れです。わからないことがあれば聞いてください

みなさんのご協力おねがいします m( )m

2005年〇月〇日

〇〇〇株式会社

総務部御中

## 「東南アジア青年の船」協賛のお願い

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

私どもは、今年度「東南アジア青年の船」事業の参加青年に選ばれたものです。本事業は内閣府が主催し、今年は32回目を迎えます。過去には、秋篠宮妃殿下も参加された伝統のある事業です。参加者は、アセアン加盟10カ国と日本からの青年で構成され、合計で約350人となります。アセアン各国の青年たちと約2ヶ月の間、船の内外で生活を共にし、意見の交換を行い、そして相互交流を深めることで、アジアの発展・繁栄に役立ちたいと願っております。

さて、本事業の中では、各国の文化を紹介する場が設けられており、私たち日本参加青年も伝統芸能や現代文化を紹介する準備を進めております。現在の日本文化を伝えるには、どうしても日本の企業文化紹介を欠く事は出来ません。

つきましては、大変不躰とは存じますが、貴社に企業文化の紹介のご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

このご時世に大変恐縮ではございますが、事業の意をおくみとりいただき、ご返事頂戴できましたら幸いです。

敬具

参加青年代表： なまえ

連絡先： 住所

電話

## 記

### 一、 事業概要

- ・ 主催：日本国政府 内閣府（旧総務庁）
- ・ 目的：日本と東南アジア諸国の青年が船内で生活を共にする中で、各国の紹介活動・討論を行うと共に、訪問国においての各種の交流活動を行う事により、相互の友好と理解を促進する。また、日本の青年の国際的視野を広げ、国際協力精神の涵養と国際協力における実践力の向上を図り、もって国際化の進展する社会の各分野で指導力を発揮できる青年を育成するとともに、青少年の健全育成活動に参加青年が寄与する事を目的として実施する。
- ・ 日程：

事前研修	8月	7日（日）	～	8月	12日（木）
出航前研修	10月	29日（土）	～	10月	30日（日）
運航	10月	31日（月）	～	12月	12日（月）
日本国内活動	12月	12日（月）	～	12月	20日（火）
事後研修（東京）	12月	20日（火）	～	12月	21日（水）
- ・ 内容：日本青年40人と東南アジア10カ国（ブルネイ、カンボディア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ヴェトナム）の青年約300人が50日程度、船内や共同生活をしながらマレーシア、タイ、ヴェトナム、ブルネイ、フィリピン各国を訪問。船内では、テーマ討論（本年度は「教育」）、各国の文化紹介、クラブ活動、スポーツ交流などを行う。訪問国では、その国の青年たちと交流、ホームステイ、ボランティア活動、各国の施設見学などを行う。

### 二、 ご提供品と数量

- 例) アセアン各国で行われる現地青年たちとの交流の時に使用する法被（40枚）  
日本文化紹介のための展示に使用する御社ののぼり旗・ポスター・ノベルティ等  
日本参加青年が船内で着るTシャツ、ウインドブレーカー、シャツ等

### 三、提供条件

無償にてお願いします。ささやかではありますがご協力のお礼として、事業の中で以下の広告協力を行わせて頂きます。

- ・ 日本文化紹介時における **貴社名（貴団体名）** のご紹介
- ・ **貴社（貴団体）** のロゴ入りのご協賛品による外国青年および現地関係者への **PR 活動**
- ・ 事業後、日本国内で行われる報告会でのご協賛団体としてのご紹介
- ・ 事業活動報告ビデオの中でのご協賛団体としてのご紹介